

[プロジェクト1]

第21回東京国際ブックフェア書物復権の会新企画説明会

21th Tokyo International Book Fair

法政大学出版局

シリーズ・キーワードで読む中国古典 第一期全五巻

第一巻◎中島隆博編『コスモロギア』

第二巻◎志野好伸編『聖と狂』

第三巻◎廣瀬玲子編『人ならぬもの』

以降続刊……

『論語』などがブームだが、中国の古典について、われわれは何を知っているだろうか。

本シリーズは中国文学、中国思想研究の第一人者たちが編集するいわば「キーワード集」である。

キーワードからテーマ、あるいは概念にあわせて、哲学、文学、芸術、嗜好など幅広い題材から必読の文献を選び、その翻訳と解説を付す。

中国の哲学概念についての論考や、原典から適宜抜粋して原文と翻訳の対照ができるように配置するなど、各巻の扱う題材によって柔軟に内容を展開させ、一冊一冊が独立した読み物として構成される。

各巻につき、編者から一人が責任編集にあたり、編者により巻頭に「総説」。

最新の研究成果を踏まえた第一級の研究書であると同時に、幅広い読者層に読まれるように題材は広く求められている。

啓蒙的ではあるにしても、新書のような解説書ではない。幅広く「古典入門」ものとして位置づけつつも、中国だけでなく日本を含めて「近代」そのものを問い直し、本質主義から脱却するために古典を読む。古典への回帰や再生ではなく、古典による転回を果たしつつ、現在の「知」について批評的であろうとする。

編者

中島隆博◎NAKAJIMA Takahiro

(東京大学大学院教授)

廣瀬玲子◎HIROSE Reiko

(専修大学教授)

志野好伸◎SHINO Yoshinobu

(明治大学准教授)

齋藤希史◎SAITO Mareshi

(東京大学大学院教授)

伊東貴之◎ITO Takayuki

(国際日本文化研究センター教授)

2015年3月初回配本

予価:本体2,800—3,200円

判型:四六判・上製

ページ数:220—240頁

[プロジェクト2]

石の物語(仮題)

古代中国の石伝説と『紅樓夢』『水滸伝』『西遊記』を読む

『水滸伝』では謎めいた石碑を掘り起こす場面、『西遊記』では石猿の不思議な誕生、そして『紅樓夢』では捨てられた聖なる岩の創造があり、いずれも石にまつわるユニークな幻想が存在している。

ここに石の象徴性による統一性が見られるが、しかし、テキスト相関理論によって、あるテキストと別のテキストとのあいだの限界線をとりはらい、最終的にはテキストとコンテキストとのあいだの限界線をとりはらう。物言わぬ硬い石のイメージが変化し、石から始まる豊かな世界が広がっていくだろう。

本書はフレデリック・ジェイムソンも監修を務める叢書の1冊であり、文学理論・文化理論の研究書である。中国文学を扱っているとはいえ、いずれも日本でも馴染みの深い三作品である。アカデミックな研究者だけでなく、一般読者にも広くアピールできるだろう。

著者

ジン・ワン◎Jing WANG

(マサチューセッツ工科大学教授)

訳者

廣瀬玲子◎HIROSE Reiko

(専修大学教授)

2014年11月刊行

予価:本体4,800円

判型:A5判・上製

ページ数:456頁

[プロジェクト3]

中国哲学を創る(仮題)

近代中国における「人生哲学」という概念をめぐって

中国思想の特徴は何だろうかと問う時、そこにはすでに西洋哲学を尺度とし、それとの異同を探るという枠組が暗に設定されている。そうして中国哲学の固有性をことさらに強調したり、固有性を無視したりするような偏った見方がとられる。それに対して、中国思想の内在的展開を重視する立場もあり、現在ではこちらが主流である。しかし、その時見落とされがちなのは、西洋哲学を尺度として中国の伝統思想を考える見方が、外からの立場ではなく、中国知識人自身によって選択され、そのことによって仮構としての中国思想の固有性が創成されたということだ。

1920年代以降の中国知識人は、中国哲学を語る際、政治思想や倫理思想に傾くことを強調し、「人生哲学に長ずる哲学」として理解しようとした。その強調は、中国にも哲学があり、西洋哲学に対抗する中国の独自性があるというナショナリスティックな言説にたやすく回収される。問われるべきはこの次元での政治性であり、こうした言説をどう評価するのが、価値の多様性を生きるわれわれの思考にとっての試金石となるだろう。

著者

志野好伸◎SHINO Yoshinobu

(明治大学准教授)

2015年5月刊行

予価:本体3,800円

判型:四六判・上製

ページ数:384頁



法政大学出版局

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学九段校舎内
TEL03-5214-5540 FAX03-5214-5542